［時が磨き、土地が刻んだ記憶］

まるきた伝統空間 大宮

東日本 地方文化事業支援 紹介公演

「まるきた伝統空間」は、財団法人 東日本鉄道文化財団が支援する東日本各地の民俗芸能をご紹介する公演です。平成13年11月より、JR東京駅丸の内北口（まるきた）ドームで開催されてきたため、この名で親しまれています。東京駅丸の内駅舎復原工事に伴い、現在は、大宮を新しい舞台として、貴重な民俗芸能に気軽に、楽しく触れあう機会をご紹介しています。

270年以上の伝統を持つ庄内の冬の風物詩。

山形県指定無形民俗文化財

黒森歌舞伎

［妻堂連中（さいどうれんちゅう）］（山形県 酒田市）

黒森歌舞伎は、江戸時代中期の享保年間（1716～1735）から、山形県酒田市黒森地区に伝承されてきた農村歌舞伎です。村の農民が「妻堂連中」という一座をなし、集落の鎮守の日枝神社に奉納してきました。雪の降りしきる2月に野外で上演されることから、「雪中芝居」や「寒中芝居」とも呼ばれています。舞い降りる雪、役者の凍てつく息も幻想的な演出のように映え、観客は厳寒の境内で、寒風をものともせずに5時間もの舞台を楽しみます。庄内の冬を彩る風物詩とも謳われる黒森歌舞伎は、福島県の檜枝岐歌舞伎と並んで、“冬の黒森・夏の檜枝岐”と親しまれ、東北二大農村歌舞伎として広く知られるようになりました。

【黒森歌舞伎の文化財指定】

- 酒田市指定無形民俗文化財（昭和38年）
- 山形県指定無形民俗文化財（昭和48年）
- 国記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択（平成9年）

【黒森歌舞伎の受賞歴など】

- 斎藤茂吉文化賞（昭和38年）
- 河北文化賞（昭和48年）
- 酒田市功労表彰（平成4年）
- 吉川英治文化賞（平成12年）
- 地域伝統芸能大賞（平成17年）

演　目

上演演目は50ほどあり、現在中央の大歌舞伎でも演じられていない場面の貴重な台本も残っています。演技の技法は独特のものがあり、演技や所作の振りは「振者」が工夫考案して振り付けています。

［菅原伝授手習鑑 車引きの場］

「まるきた伝統空間」大宮で演じられるのは、三大義太夫狂言のひとつである菅原伝授手習鑑の車引きの場です。随所に荒事の演出が盛り込まれ、歌舞伎の様式美が凝縮された演目となっています。
菅原道真の舎人梅王丸と斎世親王の舎人桜丸の二人は、主を罪に落とした藤原時平の牛車を襲おうとします。その二人の前に立ちはだかったのが、時平の舎人松王丸。彼らは三つ子の兄弟でありながら、御所車の前で争うのでした。しかし、公家荒の隈をとった時平が姿を現し一睨みすると、梅王丸と桜丸はすくみあがり、動けなくなります。
三人の性格の違いを反映した髷や隈取、見得で極まる場面など、歌舞伎の魅力をたっぷりとお楽しみください。

黒森歌舞伎の活動

一年を通じて儀式があり、歌舞伎が農村で祭礼と結びついて定着した過程を残しています。

1　太夫振舞（たゆうぶるまい）　3月
「神せんの儀」といわれる儀式を行い、来年の演目を決めます。

2　春まつり　4月28・29・30日
2つの御輿が地区内を練り回り、子供たちが演目の衣装を着て来年の予告をします。

3　お面開き　8月16日
翁面と三番叟をかぶり、式三番叟を舞い、芝居の安穏と地区の平和を祈願します。

4　虫干し　8月
衣装やかつら、小道具の虫干し。

5　役割　12月
正月公演の配役を決めます。

6　地固め　1月
本格的な稽古始め。

7　節分　2月3日
演舞場で豆まきを行い、豆をいろりで焼いて今年の天候を占います。

8　おさらい　2月初旬
通し稽古。

9　花道づくり　2月13日
黒森地区の人々によって、花道の組み立てを行います。

10　寄せ太鼓　2月14日

11　正月公演　2月15・17日

12　勘定　2月18日
正月公演の経費の精算。

江戸時代から磨き継がれた格式ある流儀。

日本舞踊「市山流」

［ふるまち芸妓］（新潟県 新潟市）

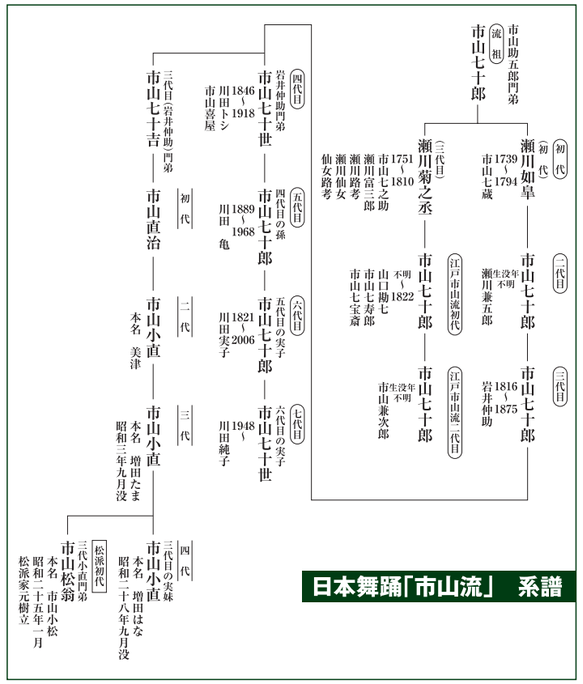
市山流は、日本舞踊の流派のひとつです。日本舞踊とは、広義では日本で行われる舞踊のすべてを指しますが、狭義では歌舞伎舞踊を指し、これが一般的な用語となっています。平成20年現在、この歌舞伎舞踊の流れをくむ日本舞踊の流派は、およそ200に上るといわれています。歌舞伎舞踊の源流は、「役者」と「振付師」であり、市山流は振付師系の流派です。大坂の俳優市山助五郎（1692-1747）の弟子で、舞踊に秀でていたため振付師に転じた市山七十郎が流祖といわれています。このため、創流以来、二百数十年たった現在でも、その受け継がれた舞踊は上方風で古格を伝えていると評され、その芸術性が高く評価されています。市山流現七代目（四世市山七十世）は、「新潟市無形文化財」第一号に認定されています。

古町花街と市山流

古町花街の歴史は古く、早くから全国でその繁栄が知られていました。江戸時代末期の文人寺門静軒も、その著書「新潟冨史」で、古町花街の華麗さ、芸妓の美しさを江戸にも劣らないと絶賛しています。
市山流の家元は四代目以降、古町花街の中心に稽古場を構え、芸妓連の踊りの質の向上に力を尽くしてきました。花街としての歴史と伝統の上に、市山流の格式ある舞踊が加わり、古町花街はよりいっそう名声を高めていったといわれています。伝統ある日本舞踊の家元が東京、大阪、京都、名古屋以外の地方に拠点を置くのは、全国で唯一市山流のみであり、新潟市民の誇り、貴重な文化的財産となっています。

演　目

1　長唄新曲　千代の寿
2　長唄（お座敷）　越後獅子
3　相川音頭～佐渡おけさ
4　さわぎ



DVD「伝統空間選集」非売品

DVD VIDEO

財団法人 東日本鉄道文化財団では、「まるきた伝統空間」のほかにも、さまざまな伝承行事を、DVDによる映像で広く皆様にお楽しみいただけるよう取り組んでいます。DVD「伝統空間選集」は、全国の公立図書館・博物館など約600カ所に無償で頒布しています。現在、東日本地域を中心に、全国約320カ所の施設でご利用（貸出・館内視聴など）いただけます。

- 上三原田の歌舞伎舞台［群馬県］
- 五所川原の立佞武多［青森県］
  ※2003年度「第41回日本産業映画・ビデオコンクール 観光部門賞」受賞
- 越後二十村郷 牛の角突き［新潟県］
- 信濃大町の子供流鏑馬［長野県］
- 信濃姨捨の棚田［長野県］
- 鳥山の山あげ［栃木県］
- 金山の有屋番楽［山形県］
- 下中座の相模人形芝居［神奈川県］
- 鹿沼今宮神社祭の屋台行事［栃木県］（制作中）